



夢 (gift) を



明日へつなげよう。



01



## 田中年度が始動しました。

2015-16 年度国際ロータリー 第 2560 地区ガバナー 山本 和則

我が国の 4 月は、役所も学校も年度初めであり、着慣れない制服や背広をぎこちなく身につけたフレッシュマンが巷に溢れる季節です。この越後平野においても百花繚乱の様相を呈し、正に春爛漫の域に達するでしょう。

ロータリーにおいても、田中次年度ガバナー主催による「PETS」が先月無事終了し、今月はいよいよ「地区研修・協議会」が開催されます。着々と次年度に向けての準備が始動しています。

私は、当地区の地区大会に忙しい中参加して頂いた同期ガバナー 10 地区の地区大会の訪問を先月終えました。様々な地区があります。秋開催 (10~12 月) が 21 地区、春開催 (2~5 月) が 13 地区です。「IM」も同じ位 春開催があります。金曜から日曜まで 3 日間の地区、土曜と日曜の 2 日間ですが、土曜は晩餐会だけや、日曜の昼で終わる地区、日曜の 1 日間の地区、平日の 2 日間の地区と時間だけ見ても本

当に様々です。その内容や運営等の詳細に付きましては次年度以降に引き継いで行き、変えるべきところは変えて行きたいと思っています。

2015-16 年度もあと 3 ヶ月となりました。年度当初に皆様をお願い申し上げました「夢 (gift) を明日へつなげよう」ということが何処まで達成できたのか、総括の時期が近づいてきました。数値目標はもちろんですが、奉仕の理想の原点に帰ろう (親睦が一番、凡事を徹底しよう)。環境変革への対応を考えよう (変えてならないもの、変えなければならないものを考えよう)。公共イメージの向上を図ろう (一般市民と一緒にイベントの開催)。どの方針、目標も地区内各クラブ、各会員のご協力なくしては達成することは出来ません。最終月まで、よろしくお願い申し上げます。



02



## 米山記念奨学生のカウンセラーを務めて

米山記念奨学生カウンセラー 田村 淑文 (新潟南 RC)

2015 学年度の「カウンセラー・ハンドブック」を受け取った時には、入会間もない私に務まるのか不安でしたが、インドネシア出身、新潟大学工学部 4 年生、フィデリア グラシアさんのいつも明るい笑顔のお蔭で、一年間自然体で付き合い合うことが出来たと思います。

例会でのスピーチでは、彼女はいつも少し緊張している様子でしたが、流暢な日本語で、しかも敬語に気をつけて、正しい言葉づかいで話をしていたことに、多くの方が感心されていました。地区大会でも、米山記念奨学生の代表として、素晴らしい活動

報告をされ、カウンセラーとして大変誇りに感じました。

就職活動や卒業研究発表の準備、卒業論文の作成等、大変苦労していた様子でしたが、例会や行事等に、出来る限り参加しようという積極的な姿勢を感じました。

ご本人も、奨学生になって一番良かったことは、視野が大きく広がったことだと仰っています。

日本の会社に就職したことにより、いずれはインドネシアとの架け橋の一員となって頂きたく、可能であれば未永く交流を続けていきたいと思っています。

最後に、貴重な経験をさせて頂きました関係者各位に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。





# 03



## クラブ会長エレクト研修セミナーの報告

2016-17年度地区幹事 小林 敏夫 (長岡西RC)

去る3月12日(土)、長岡西ロータリークラブのホストのもと、長岡ベルナルにおいて田中政春ガバナーエレクト年度のクラブ会長エレクトセミナーが開催されました。

当日は朝早くから、山本ガバナーをはじめパストガバナー、ガバナー補佐、地区役員、地区内56クラブの会長エレクト、幹事エレクトの皆様他、190余名のご参加を頂きました。

田中政春ガバナーエレクトはまず1月にサンディエゴで開催された国際協議会についてRIジョンF・ジャーム会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」に基づいて報告された後、田中年度の地区目標「基本を学び、地域とともに」ならびに数値目標についてじっくりと語られました。

佐々木昌敏地区研修リーダーからは、会長セミナーにおいて「クラブ会長の責務とリーダーシップ」についてお話しいただきました。他各分科会も

意義深いセミナー、懇談会が行われました。懇親会では参加者全員がこれからの1年への思いを一つにして親睦を深める機会となりました。



# 04



## 第2回ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー

ロータリー財団委員長 渡辺 敏彦 (新潟南RC)

2016年2月20日(土) 13:00~16:30 新潟万代シルバーホテルで上記の会を開催しました。対象は次年度会長並びに次年度ロータリー財団委員長、そしてガバナー補佐であります。その意図は、財団の補助金である地区補助金・グローバル補助金を次年度に向けて各クラブより積極的に申請して活用頂きたいというものであります。その申請の資格としては、クラブよりMOUを提出し、この補助金管理セミナーを誰か一人受講することです。

地区補助金としては、奨学生の発表があり、奉仕プロジェクトとして、長岡RC「絵本ライブ」糸魚川RCと糸魚川中央RCのコラボ「新日本フィルハーモニー交響楽団弦楽アンサンブル演奏会」の事例発表がありました。

グローバル補助金の新しい事例として高橋優子国際奉仕委員長より、新潟万代RCの姉妹クラブであるホノルルサンライズRCの人道プロジェクトへの参加と県内RC等への呼びかけにより大きなプロジェクトになった旨の報告があり

ました。

いずれにしても、あっという間の3時間半(主催側の思い??)。事前質問にも答えて会を無事終了しました。



# 05



## 2015-2016年度 米山記念奨学生終了式・歓送会 報告

米山記念奨学委員会 奨学生・学友委員 小林 玄太 (新潟北RC)

去る2016年3月5日(土)新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟に於いて奨学生終了式・歓送会が開催され、奨学生19名、学友会理事4名、カウンセラー18名、委員長6名、担当教員3名、地区役員・事務局19名の計69名の参加をいただきました。

山本ガバナーのご挨拶に続き、植木米山記念奨学会理事、田中米山記念奨学委員長のご挨拶ののち、終了されます奨学生お一人お一人に山本ガバナーより終了証書が授与されました。奨学生を代表して王流政さんより挨拶をいただきました。

カウンセラーの皆様へ感謝状の授与を山本ガバナーよりカウンセラーを代表しまして渡辺久恵さんに送られ、ご挨拶をいただきました。

のちに、指導教員を代表されまして、敬和学園

大学富川尚教授よりご挨拶をいただき、終了式が終わり皆で記念写真を撮りました。

歓送会では、田中ガバナーエレクトの発声により盃が開けられました。終了される奨学生の皆様よりお一人ずつ、想いや、思い出などを話していただき、和気藹々とした雰囲気の中、会が進行しました。

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍していただき、ロータリー運動の良き理解者となってほしいと切に願います。

最後に手に手つないで合唱して、中締め挨拶を丹治米山記念奨学副委員長よりいただき、三本締めで終わりました。

ご出席いただきました皆様大変ありがとうございました。



# 06



## 第2560地区ローターアクト地区大会に参加して



青少年奉仕委員会 ローターアクト委員長 牧野 章一（高田RC）

平成28年2月13日(土)国際ロータリー2560地区ローターアクト(以下「RA」)第46回地区大会が新潟市で開催されました。

彼らの今という明日への道を前向きで、ジミチに活動している姿は、奉仕の何たるかを考えさせるものでした。

式典は、新潟南ロータリークラブ(以下「RC」)

北川栄資会長、高杉龍司地区大会実行委員長の歓迎の挨拶から篠田昭新潟市長(代読)、山本和則ガバナーをはじめとする祝辞、表彰等と続き和やで且つ「凜」としたものでした。

記念講演は、話題のNGT48劇場支配人今村悦朗氏による「新潟のキラコンテンツを目指せ! ~NGT48 未来への挑戦~」です。

上越新幹線の沿線はアイドルベルト地帯。新潟はアイドルを受け入れる土壌がある。等々のお話に加えてペンライトの振りかたをご指南いただきました。

祝賀会は、サザンオールスターズの演奏で「恋するフォーチュンクッキー」ダンスを地区RA女子メンバーが披露し、その感想を求められた今村氏が「今からNGT48のオーディションをはじめます。(?)」と宣言、会場は異様な歓声とともに大フィーバーとなりました。

大会テーマの「喜努愛楽」に徹底的にこだわる伊比浩太郎地区代表の思いが遺憾なく発揮された大会となりました。

最後に提唱クラブの新潟南RCをはじめご参加いただいたすべての皆様に心からお礼申し上げます。有難うございました。



# 07



## ロータリー財団地区奨学生候補者オリエンテーション

ロータリー財団委員会 奨学金委員 斎藤 秀明（新潟南RC）

3月5日万代シルバーホテルにおきまして2016-2017年度地区奨学生候補者(児玉 瑞穂さん、鎌田 由佳さん)に対するオリエンテーションが開催されました。

お二人とも大変緊張した面持ちの中、山本ガバナー、渡辺財団委員長の激励を込めた挨拶で会は始まりました。中村奨学金委員長からは、今後のスケジュールや奨学生の役割と責務について、そして高橋学友会委員長と2014-2015地区奨学生の小林佳乃子さんからは、実際に留学した時の経験を踏まえて、滞在先では自らの意見をはっきりと伝えることや、分からない事は恥ずかしながらとことん聞く事が大切!そしてまずは行動すること!そうすれば様々な出会いが生まれ、充実した時間を過ごせます。でもあぶない事もあること

は忘れないように。また、親善大使としてその地域のロータリーにも自分からアプローチする事、そうすれば本当に優しく親切に対応してくれます。それがロータリー、ロータリアンです。

安心して下さい!

児玉さんは、「音楽を通じて日本とドイツの懸け橋になりたい」また、鎌田さんは、「夢は必ず実現する事を己をもって子供達に伝えたい」と並々ならぬ決意をお話いただきました。

最後にスポンサークラブの代表としてご出席いただいた三条RCの成田さんと新潟万代RCの伊藤さんからも本当に心温まる激励の言葉をいただきました。

お二人はこれで夢の実現に一步近づけたと感じた事でしょう。お二人とも出発は7月以降です。そ

れまでにクリアしなければならない事がまだあります。気を抜かず準備をしていただきたいと思います。

ロータリアンの皆様からのご寄付が、これから出発する二人の人生にきっと何者にも代えがたい経験を与えることでしょうか。そして帰国後その事が何十倍にも生かされる事を心より期待しております。

それにしても、若いっていいですね・・・



# 08



## 2015-2016年度寄付額上位10RC (2016年2月末日現在)

### ロータリー財団寄付

今期寄付総額順(\$)		年次基金平均寄付額順(\$)	
1 長岡西	22,949.53	1 長岡西	471.62
2 新潟南	14,735.00	2 新潟万代	211.38
3 新発田	13,970.00	3 小千谷	184.47
4 三条北	11,290.34	4 十日町北	156.82
5 長岡東	8,724.75	5 三条北	154.87
6 高田	8,250.12	6 十日町	154.84
7 小千谷	8,116.67	7 新潟中央	153.00
8 三条南	7,850.00	8 新発田	151.85
9 新潟万代	7,821.00	9 頸北	150.00
10 新潟	7,749.00	10 三条南	149.59

### 米山記念奨学会寄付

今期寄付総額順(円)		個人平均寄付額順(円)	
1 長岡東	1,843,000	1 長岡東	27,507
2 新潟南	1,530,000	2 栃尾	25,100
3 新発田	1,425,000	3 頸北	24,000
4 高田	1,137,000	4 白根	23,348
5 新潟	1,037,000	5 十日町	22,625
6 白根	1,004,000	6 佐渡	22,000
7 直江津	993,000	7 新潟万代	21,972
8 長岡西	917,000	8 糸魚川中央	20,040
9 新発田中央	890,000	9 直江津	19,860
10 長岡	872,000	10 長岡	19,818



## 次年度からのお知らせ

3月12日田中年度の初めての行事「クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)」に山本ガバナーを始めパストガバナー、クラブ会長・幹事エレクト、ガバナー補佐、各委員会委員長、ガバナースタッフ、総勢約190人の方から長岡にお集まり頂き、長時間に渡り研修頂きました。ありがとうございました。

### 地区の数値目標

- 1) 会員増強 前年度末比 3%純増
- 2) R財団寄付  
年次基金 150米ドル/1会員  
ポリオプラス寄付 15米ドル/1会員
- 3) 米山奨学金への寄付 20,000円/1会員
- 4) アトランタ国際大会への参加 20名以上

- ベネファクター 10名以上  
P.H.F 56名以上純増  
P.H.S 10名以上純増

以上2016-2017年度地区の数値目標が田中ガバナーエレクトから発表されました。

### 地区研修・協議会

\*日時 2016年4月23日(土) \*場所 ホテルニューオータニ長岡



## 新入会員

### 新入会員

3月20日までに報告いただいた新入会員を掲載しております。

R	C	氏名	入会日	会社名	R	C	氏名	入会日	会社名
		三条北 佐藤 啓策	2016.3.1	(株)ビジネスセンター	見	附	斎藤 芳久	2016.3.1	(有)原の湯
		新 潟 本多 晃	2016.3.1	医療法人社団京愛会 本多レディースクリニック	見	附	近藤 淳人	2016.3.1	近藤商店
		新 潟 安野 克彦	2016.3.1	(株)電通東日本新潟支社					

### 2015-16年度 出席報告書

クラブ名	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	2月末日現在	女性	増減
<b>第1分区 (9クラブ)</b>						
新 発 田	5	86.68	355	363	36	8
村 上	3	96.19	92	92	0	0
水 原	3	91.18	35	35	7	0
中 条	4	75.21	23	26	1	3
新 発 田 城 南	4	90.00	33	35	3	2
新 発 田 中 央	3	89.81	41	39	5	-2
豊 栄	4	83.91	26	26	3	0
新 発 田 中 央	3	86.52	48	49	5	1
中 条 胎 内	4	83.91	48	49	5	1
村 上 岩 船	4	82.82	30	32	6	2
村 上 岩 船	4	84.48	27	29	6	2
<b>第2分区 (9クラブ)</b>						
新 潟 潟	4	83.55	450	461	19	11
新 潟 東	4	84.53	93	99	0	6
新 潟 南	4	84.53	93	99	0	6
佐 渡	4	79.83	64	65	8	1
新 潟 西	4	90.82	95	99	0	4
佐 渡 南	4	82.10	7	7	0	0
新 潟 北	3	88.80	39	39	1	0
佐 渡 南	4	88.80	39	39	1	0
新 潟 中 央	4	93.86	44	44	4	0
新 潟 北	5	76.87	45	46	0	1
新 潟 中 央	4	76.87	45	46	0	1
新 潟 万 代	4	80.00	26	25	0	-1
新 潟 万 代	5	75.14	37	37	6	0
<b>第3分区 (6クラブ)</b>						
新 津 津	4	78.75	130	134	8	4
村 松	4	72.50	20	20	0	0
五 泉	4	100.00	10	11	0	1
白 根	3	76.46	17	18	3	1
新 津 中 央	3	79.36	44	43	3	-1
阿 賀 野 川 ラ イ ン	4	74.20	28	31	1	3
阿 賀 野 川 ラ イ ン	2	70.00	11	11	1	0
<b>第4分区 (11クラブ)</b>						
三 条	3	77.17	358	362	23	4
三 条	3	86.85	51	54	0	3
加 茂	3	60.28	33	33	1	0
三 条 南	3	89.28	29	28	6	-1
分 水	4	89.75	49	52	1	3
見 附	4	73.77	32	31	2	-1
吉 田	3	71.00	19	19	1	0
三 条 北	4	79.50	32	33	2	1
三 条 北	4	79.62	63	65	3	2

  

ク ラ ブ 数	56クラブ
2015年7月1日会員数	2,077人
2016年2月末日現在会員数	2,113人
女性会員数	149人
純増減会員数	36人
当月平均出席率	80.95%

掲載記事に関するお問い合わせ (紙面の都合で掲載できなかった写真はwebをご覧ください。)

国際ロータリー第2560地区ガバナー事務所  
〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53 ホテルオークラ新潟1階  
TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-mail: k.yamamoto@rid2560niigata.jp  
URL: http://www.rid2560niigata.jp

RI シニアリーダーや各地区のガバナーが毎年度、本年度は「会員純増」目標として、各クラブ1名とか2名、或は3%とか5%といった数値目標を掲げて参りました。しかしながら、達成が簡単と思われるようなこの様な数値目標が、過去10年スパンの日本の会員数動向を見ますと、実際には達成が難しく、長期的にはマイナストレンドが続いています。

ロータリーのトップリーダーとしては、その立場上、会員増強の毎年度の数値目標を掲げないわけにはいかないことは理解できますが、その純増に必要な数名をなぜ達成出来なかったのか、その分析と今後達成可能な方法論を示せなかったことが、結果的に継続的な純減を招いたとも言えます。

会員増強がトップリーダーの掛け声だけで達成できたのは過去の産物かもしれません。日本では少子高齢化社会が早いスピードで進行してゆきます。働き手の65歳以下の職業人は10数年後には3人に1人となります。その様な変化が激しい現代社会では、特に若年層の生活感が多様化しています。ジョン・ジャーム RI 次年度会長は、会員51名以上のクラブにおいては40歳以下の会員を4名以上、50名以下のクラブでは2名以上入会出来るようにしてくださいと提唱されていますが、果たしてクラブ運営費が高い日本の都市型クラブへ入会可能な若年層の会員候補者が何名あるかです。各クラブの現状では高いハードルと思われる。

会員基盤を強化するには、各クラブが従来のクラブ運営方法やコストなどの基礎的な条件を見直し、若年層の人々が入会出来るように「クラブの体質」そのものを徐々にでも変えて行かなければクラブ会員の高齢化が進む一方で、会員の若返り、世代交代が停滞します。各クラブの「インフラ整備」なくして会員増強はあり得ない時代になっているのではないのでしょうか。しかしながらロータリークラブの運営管理システムは「単年度制」ですから、クラブの「インフラ整備」には少なくとも3-5年間のスパンで継続的に整備して行かなければ、成果が表れてきません。急がば回れです。

第2660地区においては、この様な考え方をベースに81の各クラブが「クラブ戦略計画委員会」を立上げ、各クラブ独自の中長期の戦略計画の立案と推進を図るべく取組んでおります。本年度中に既に78%のクラブが「クラブ戦略計画委員会」立上げておりますので、数年以内に全クラブによる Bottom-up の力で会員基盤が強化される方向へ進むことを期待しております。



# ハイライトよねやま 192

2016年3月11日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べ3.8%増、約4,200万円の増加です。普通寄付金が0.6%増、特別寄付金が5.6%増となりました。前年度との単月寄付額で比較すると多少減額しましたが、累計額では引き続き直近7年間の中で最高額を維持し、下半期も好調に推移しています。多くのロータリアン、学友からのご支援に心より御礼申し上げます。今年度も残り3カ月半ほどとなりました。今後ともご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

## さまざまな寄付のカタチ — 20年前の恩返しから —

2月、大学の指導教官（匿名希望）から70万円もの寄付をいただきました。この先生は、アメリカから毎年米山奨学会へ寄付しつづけている米山学友、張虞安さん（1998-2000/交野RC）の昔の指導教官です。※張虞安さんについては、『ロータリーの友』1月号“よねやまだより”（横組み p30-31）もご覧ください

「張さんが中国薬科大学からの交換留学生として、私の研究室に配属されたのがご縁の始まりでした。彼が博士課程へ進学する際、たしか制度上の理由で、1年間、入学を待ってもらうことになりました。張さんは経済的に極めて厳しい状況で、その生活ぶりに私も心配し、時折援助したこともありました。その後、米山奨学生に受け入れていただき、彼の経済的ピンチが救われ安堵すると同時に、貴奨学会の重要性を認識し、感激したことを今もはっきりと覚えています。あれから20年、今回思いがけず、私の退任祝いにと、張さんから多額のお金をいただきました。何かに役立てたいと思っていたところ、彼が貴奨学会に毎年寄付していることを知りました。彼の想いを大切に、さらなる奨学金の広がりをお祈りしながら、張さんの名義で寄付をさせていただきます」

## ご存じですか？ホームカミング制度

「ホームカミング制度」は、各地区が米山学友を招へいし、地区大会などでその活躍ぶりを広くロータリアンへ紹介していただく制度です。開始から8年、最近では地区大会のほか、インターシティミーティング、会長エレクト研修セミナー、クラブ米山委員長セミナー、米山奨学生終了式・



オリエンテーションなどに登壇してもらい、ロータリアンにも奨学生にも米山奨学事業の意義を改めて認識していただく機会となっています。

2015-16年度は3月現在までに12地区からのべ15人がこの制度で招かれ、ロータリーとの絆を深め旧交を温めました。



また、4人のよねやま親善大使も、地区やクラブからの要請に応じて全国各地へお伺いしています。当会事務局まで気軽にご相談ください。

## 気仙沼大島へ継続的支援 — 第 2590 地区米山学友会 —

東日本大震災から5年——。ロータリークラブや地区では、今もさまざまな形で被災地への支援活動を行っていますが、第2590地区米山学友会（会長：ジャンマニーガム、アモンサクさん）も、震災の翌年の2012年から、宮城県の気仙沼大島への復興支援に協力しています。

きっかけは、気仙沼大島で瓦礫撤去などのボランティア活動を行った同地区の米山学友、キョウ雷さんや呂学龍さんが、学友会としても支援しようと呼びかけたことに始まります。最初の活動として、同地区の後援を得て、2012年5月に横浜市内でチャリティー・コンサートを開催し、集まった寄付金を気仙沼大島の災害対策本部長に贈呈しました。翌2013年3月には、中国人画家・常嘉煌さんが創作した油絵を贈呈に、同11月には現地の社会福祉協議会や教育委員会の要請に応じてミニコンサートを開催するために、学友らが現地を訪問しました。2014年9月には、気仙沼市内の小学校で国際交流授業を実施。そして、昨年4月には気仙沼大島つばきマラソンに参加するとともに、前夜祭としてミニコンサートを開催して、企画を盛り上げました。これまで2回、現地を訪れて活動に参加した前会長のエソダ・バスネットさんは「気仙沼の皆さんの笑顔に、こちらが勇気や元気をもらうことが多かったです。私の母国ネパールも昨年、大地震に見舞われ、大きな被害を受けました。日本・ネパールの両被災地の皆さんと手を携え、学友と協力しながら、復興支援に尽力したいと思います」と語りました。



## ベトナムの学友が視覚障害者と交流

ベトナムの学友グループが3月6日、ホーチミン市内の視覚障害者福祉施設を訪問し、寄付金や日用品を贈呈しました。

今回参加したのは、米山学友が16人、友人や家族が8人、日本から第2790地区 松戸中央RC会員が5人です。背中に「超私の奉仕」と刺繍されたおそろいのポロシャツを着用し、学友グループから同施設へ寄付金5,260,000ベトナムドン（約27,000円）のほか、ミルク、油、即席麺が、松戸中央RCからは歯ブラシ300本が寄贈されました。そのお礼にと、着物ドレスに身を包んだ施設の子供が可憐な歌声で「さくらさくら」を歌い、踊りや演奏を披露してくれました。ベトナムにはまだ学友会はありませんが、2014年からグループを結成し、ホーチミンを中心に継続して奉仕活動をしています。今後もベトナム人若者への奨学金支給など、さらなる活動を検討中です。



### Go Go Seoul! ～【ソウル国際大会情報】～

- ◆ 米山分科会の時間が決定しました！ **5/30（月）15:30～17:00**です。ぜひご参加ください。
- ◆ 速報！！学友たちの企画による「**米山学友合同懇親会 in Seoul**」が**5/28（土）18:30～**開催されることになりました。会場は、ホテルノボテルソウル江南です。詳細は後日、HPにアップします。

平成28年3月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会  
委員長 中村博亘

拝啓

春暖の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。  
このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。  
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は「申込先」もご記載下さるようお願い致します。

## 文庫通信 (343号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。  
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「ロータリアンの矜持」

- ◎ 「ロータリアンの矜持」 藤川享胤 2015 1p (D.2800月信)
- ◎ 「ロータリーの親睦」 松田泰長 2016 1p (D.2790月信)
- ◎ 「親睦の真意は」 櫻木英一郎 2016 1p (D.2790月信)
- ◎ 「“そよ風に 稲田のかおり 山深し” (ロータリーに輝きを)」 久野 薫  
2015 1p (D.2680月信)
- ◎ 「ロータリーのバッジはいいバッジである」 塚原房樹 2015 1p  
(D.2510月信)
- ◎ 「いま求められる寛容の精神 “Toleration”」 塚原房樹 2016 2p  
(D.2510月信)
- ◎ 「続・国際ロータリーの変質」 新藤信之 2015 20p
- ◎ 「『クラブ戦略委員会に関するアンケート』回答要約」 村橋義晃 2016  
2p (D.2660月信)
- ◎ 「ロータリー創立記念日に纏わる遊び種」 神崎正陳 2010 9P

[上記申込先：ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日